

未成線の旅へようこそ

今は幻となった長倉線の鉄道跡地を自然と歴史に触れる散策道として整備しました。アーチ橋や築堤など貴重な鉄道遺構の魅力をお楽しみください。



並松切通し～先



小井戸切通し(其の1)～先

②茂木駅

茂木駅は、大正9年12月15日に開業しました。建設当初から主要駅のひとつで、本館は瓦葺きで内外共に淡緑色のペンキ塗り、事務室等も最新式の構造法をもって造られました。



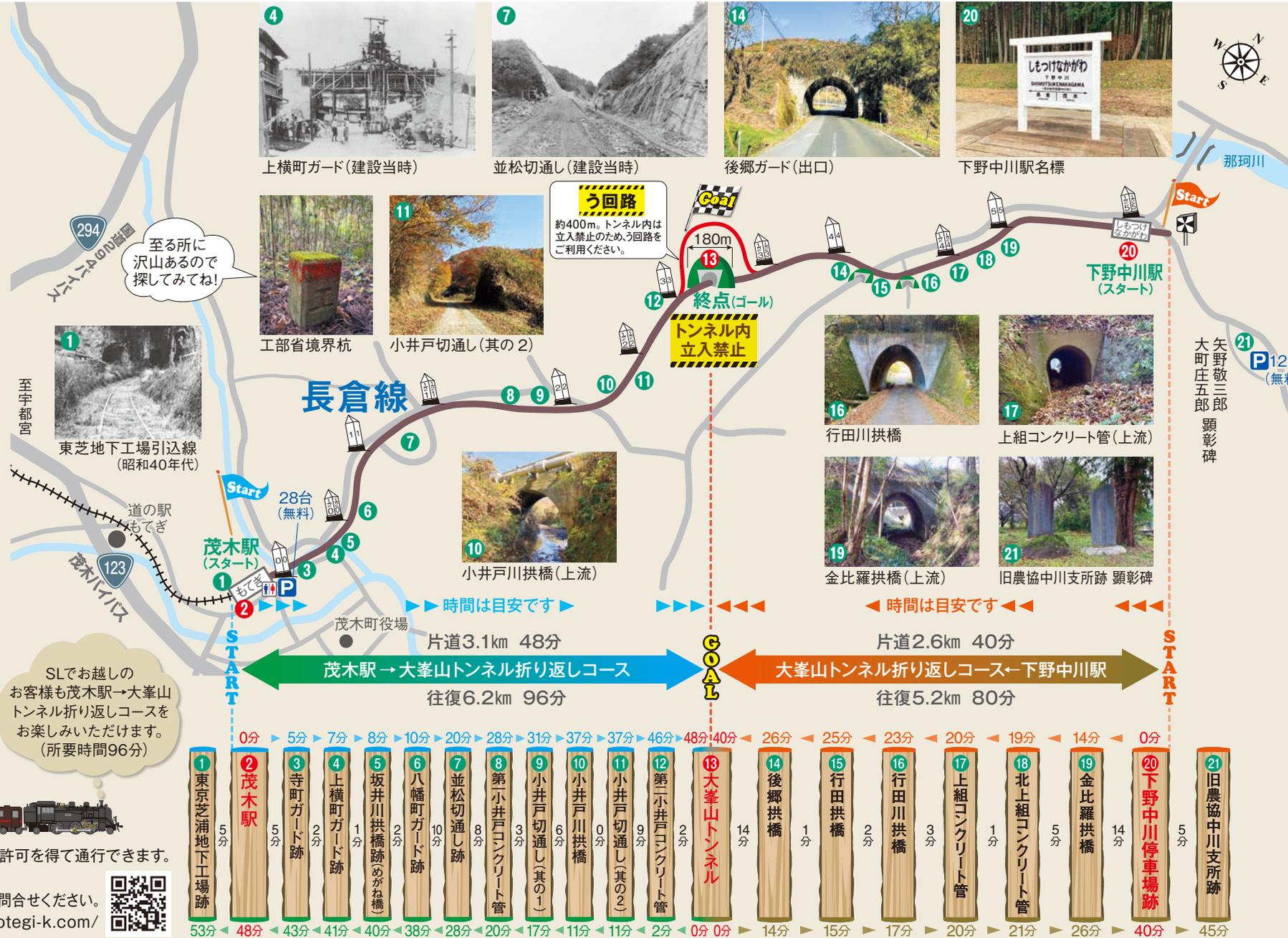
茂木停車場(建設当時)

茂木駅 12:06着 14:26発 140分



大峯山トンネルは、ツアー開催時のみ許可を得て通行できます。通常は立入禁止です。

ツアー開催日は、茂木町観光協会までお問合せください。
TEL 0285-63-5644 <https://motegi-k.com/>



⑬大峯山トンネル

長倉線の最大の難工事であった唯一のトンネルが残っています。延長は180mあり、列車が一度も走っていないため、トンネル内部は、煤で汚れることもなく、コンクリート打設当時の姿のまま現存しています。



写真は、請負業者だった小林組の安全週間で、建設に携わった関係者を見ることが出来る貴重な一枚です。(昭和14年7月頃)

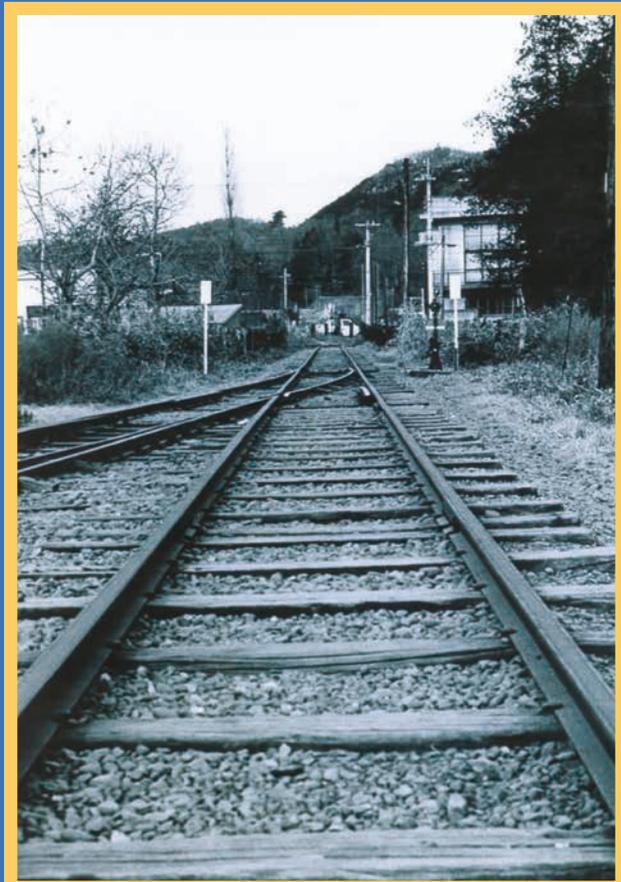
⑳下野中川停車場跡



1/8千 空中写真「常陸大宮」(昭和50年2月12日撮影)×2.5 下野中川停車場構内イメージ

茂木駅から5.6km付近に、下野中川駅は建設されました。現在は一部畑になっていますが、敷地の形状から、規模の大きな駅だったと推測されます。





NAGAKURA LINE

幻の長倉線

未成線の旅へようこそ!

「長倉線」は、戦争に翻弄され、この世に誕生することなく消えていった未完成の鉄路である。

未来へ今新しい歴史を

国鉄 長倉線の建設

真岡線茂木延長が実現した翌年、大正10年9月、真岡線の茂木と常磐線の大甕(日立市)を鉄道で接続しようとする「甕茂鉄道建設運動」が起こりました。そして、沿線の大宮町、長倉村、中川村などが加盟し「大甕・茂木間鉄道敷設期成同盟会」が結成されました。中川村では、栃木県会議員を兼ねていた大町庄五郎村長が先頭に立って鉄道延長の実現のために、村をあげて取り組みました。

町は、これらの遺構を
活用しながら、先人たちの功績を
後世に伝えていきます。

大正11年4月改正鉄道敷設法の中に、阿野沢(現城里町桂地区)より分岐して茂木に至る鉄道が、予定線としてあげられていましたが、茂木～阿野沢間は、山岳が連なり工事が困難などの理由で、茂木から中川村～長倉村(現常陸大宮市)を経て東野(現常陸大宮市)に接続するよう路線の変更を訴えました。

大正13年2月には、後任の矢野敬三郎村長ら有志96名から「茂木・東野間鉄道速成に関する請願書」が提出され、

刻み始める……

昭和3年6月29日付

茂木東野間鉄道速成に関する請願書

沢山のお客様に訪れて頂き、
歴史のロマンと自然豊かな茂木町を
堪能していただければ幸いです。

昭和3年長倉線の建設が決定されました。しかし、昭和不況による財政難のため着工は延期されてしまいます。

そして、昭和12年3月、茂木～長倉間12.2kmのうち茂木側6.2kmの工事がようやく着手されたのです。

長倉線は、昭和15年10月に「南第一工区」と呼ばれる現在の河井地区までの約6kmが竣工したとされています。

戦争で放棄されましたが、80余年を経てもなお色褪せない多くの遺構が当時の面影のまま現存しています。

交通アクセス

■お車でお越しの方



■公共交通機関でお越しの方



未成線ウォークの際の注意事項

1. 未成線敷きには、トイレや駐車場はありません。②茂木駅のトイレ、北側の駐車場をご利用ください。また、下野中川駅からスタートする方は②旧農協中川支所跡の駐車場をご利用ください。トイレはありません。ゴミは各自お持ち帰りください。
2. 大峯山トンネル内は、**立入禁止**です。う回路をご利用ください。
3. 住宅地付近を通行する際はお静かに、また写真撮影についてもご配慮ください。
4. 未成線敷きには、私有地になっている箇所もございます。安全のため火気厳禁です。見学には十分ご注意ください。
5. 地元農業者や他の通行者の迷惑にならないよう通行してください。

茂木町役場商工観光課 茂木町観光協会

TEL 0285-63-5644

<https://motegi-k.com/> 茂木町観光協会

検索



2022年8月発行